

932
公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 6 年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 3 月 15 日

団体名 手話サークルかやくごはん

代表者 坂本 国土

構成員 74 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

手話技術の習得向上に努め、聴覚障害者と健聴者の交流を図ることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは？	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
10 月 27 日	東部地域交 流センター・ むらさきか ん	参 加 者 全 員 135 人	110人	モンキー高野氏講演会 (手話読み取り通訳者有) 聴覚障害を持つ講師を招いて①自 分の生い立ち(トランスジェンダー 含む)、②海外旅行記(コミュニケー ション方法等)、③手話体験といった 2 時間の講演を開いた。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

聴覚障害を持つ講師で、生い立ち、トランスジェンダーについてのお話を聞いたり、聾者独特表情と手話表現を体験し、手話は言語の一つであることと聾文化の学習を施すことができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

聴覚障害者への理解促進及び手話が言語であるとの認識を取り入れ、聴覚障害者と健常者が手話体験を触れ合う交流の場を通じて相互理解を深めることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。